

沖縄特別通訳案内士になりませんか？

育成研修が始まります！

沖縄振興特別措置法に盛り込まれた沖縄特別通訳案内士制度の創設に伴い、平成25年度から沖縄特別通訳案内士の育成を始めて今年で3年目になります。

通訳案内士とは？

通訳案内士とは、通訳案内士法に定められた資格で、報酬を得て、通訳案内(外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をすること)を行うことを業とする者です。

現在、国が年1回実施する通訳案内士試験に合格した者が、居住する都道府県知事の登録を受けることにより、通訳案内士として全国各地で活躍できるようになります。

沖縄県においては、通訳案内士に加え、沖縄県地域限定通訳案内士も活躍しています。

通訳案内士とは？

とにより、沖縄県内で通訳案内士として活躍することができます。

沖縄特別通訳案内士とは？

平成26年度の入域外国人観光客数は過去最高の98万6千人となりました。

資格区分表

資格区分	活動範囲	資格期限
通訳案内士	日本全国	期限なし
地域限定通訳案内士	沖縄県内	期限なし
沖縄特別通訳案内士	沖縄県内	平成33年度まで

年度まで沖縄県内において通訳案内士として活躍することができます。



海外に向けて沖縄観光ブランドの浸透を図るため制作したキーコピー
【沖縄グローバル観光ブランド「Be.Okinawa」】

研修関係一覧表

■ 研修受講者の語学レベル

研修受講対象者：沖縄県に住所を有し、かつ、1年以上居住している方が受講対象者です。

項目	速成コース (受講手数料：63,000円)	一般コース (受講手数料：93,000円)
中国語	中国語検定2級相当	中国語検定3級相当
韓国語	韓国語能力試験5級相当	韓国語能力試験4級相当
英語	英語検定準1級相当	英語検定2級相当

■ 研修カリキュラム (対象言語：中国語、韓国語、英語)

研修項目	研修内容	時間
語学 ※1	外国人観光客を円滑に案内できる語学力を習得します。	48
地元学	沖縄県の概況、観光の現状などに関する知識を幅広く習得します。	12
ホスピタリティ	海外(欧米、中国本土、韓国、香港)のマナー・習慣を踏まえた、観光客が満足できるサービス提供能力を習得します。	12
プレゼンテーション	海外(欧米、中国本土、韓国、香港)のマナー・習慣を踏まえた表現方法、観光客に誤解を生じさせないコミュニケーション能力を習得します。	30
旅程管理	一般的な旅程管理知識及び交通事情など、沖縄の実情を踏まえた旅程管理能力を習得します。	12
救急救命	日本赤十字社、県内消防本部などが行う「基礎講習」「普通救命講習」を受講し、AEDの取扱いや応急(救命)手当の知識・技術を習得します。	3
現場実習	総合的な観光案内実務を習得します。	35

※1 速成コースは語学研修を実施しません。

事前審査手数料 **2,000円** | 登録申請手数料 **5,100円**

沖縄県地域限定通訳案内士試験

県内で外国人に対して、報酬を得て通訳案内をすることができる地域限定通訳案内士の資格試験を行います。この試験に合格し登録すると、**資格期限がなく通訳案内ができます。**

- 日 時：第1次試験 8月29日(土)・30日(日)
- 言語：中国語、韓国語、英語
- 願書締切：6月30日(火)
- 願書配布場所：県庁8階観光政策課、名護県税事務所、コザ県税事務所、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
- 受験手数料：8,100円

お問い合わせ | 県観光政策課 電話：098-866-2763 FAX：098-866-2767

研修内容について

沖縄特別通訳案内士育成研修は、沖縄本島中南部地域、北部地域、宮古地域、八重山地域で実施し、研修カリキュラムは左の表のとおりとなっています。

(事前審査し、審査を通過した応募者は、「速成コース」又は「一般コース」に分かれて受講します。)



沖縄特別通訳案内士登録証

募集定員等について

平成27年度における研修受講者の募集定員につきましては、中国語60人程度、韓国語10人程度、英語20人程度を予定しております。